

3月27日

わだおかつ子

最終号

重点目標「一歩ふみだす子」

令和4年度 卒業証書授与式 未来を見つめてまっすぐに



3月17日、卒業証書授与式。27人の6年生が和田岡小学校を巣立っていきました。私は素直で、やさしく、たくましいひとりひとりへと成長した27人に、はなむけに、こんな言葉を贈りました。

(前略)卒業生の皆さん。いよいよお別れのときです。

今年度、本校に着任するにあたり、私は「和田岡小が日本中のどこの学校よりも、人権が大切にされ、児童ひとりひとりの個性が輝く学校にしよう」と考え、その象徴として、橋爪純画伯にこの「ひまわり」の絵を寄贈していただきました。卒業生の皆さんは、そんな「ひまわり」の絵に込められた私の願いを、クラスメイトを大切に、下級生をいつくしみ、ひたむきに自分自身の個性、良さを発揮する姿をとおしてかなえてくれました。下級生たちはそんな皆さんの姿を、和田岡小の伝統として引き継いでいってくれることでしょう。卒業生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。お礼を言わせてください。ありがとうございます。本当にありがとうございます。

この絵に描かれた太陽に向かって明るく咲き誇る黄色のひまわり。皆さんは黄色いひまわりの花言葉をご存じでしょうか？黄色いひまわりの花言葉は「未来を見つめて」です。今、まさに和田岡小を巣立とうとしている皆さんにふさわしい言葉ではないでしょうか。皆さんがここで成し遂げたことに誇りをもち、これから先もひまわりのように、未来をしっかりと見つめて真っすぐに伸びていくこと、そして、いつの日か大輪の花を咲かせることを信じています。結びとなりますが、皆さんの前途に幸多かれとお祈りし、式辞といたします。(令和4年度卒業証書授与式校長式辞より抜粋)

保護者・地域の皆様、1年間ご支援ありがとうございました

卒業式前日には、修了式が行われ、158人の全校児童が一年間のすべての課程を終え修了証書を手にしました。修了式の中で、私は、3年1組の萩田理玖弥さんが、前日、私にくれたメッセージを紹介しました。「校長先生へ ひまわり賞を作ってくれてありがとうございます。おかげで僕は自分のことが好きになりました。」

9月。子どもたちが、自分自身のよさを見つけ、自己肯定感・自己有用感を高めるお手伝いができればよいと考え、「ひまわり賞」を始めました。それからの7ヶ月間の中で、のべ660人の児童を校長室で表彰しました。今思えば、その間も私は期待をし、待っていたのかもしれませんが。いつか表彰を受けた子どもたちが「自分自身のことが好きになれた」と、言ってくれる日が来ることを。そんな日が年度末に訪れたことを私は、本当にうれしく思いました。式辞の中で私は再度子どもたちに伝えました。「自分自身を好きになれる人ほど、自分以外の誰かにもやさしくできるんだよ。自分自身のことが好きで、他人にやさしくできる人ほど、幸せになれるんだよ。」と。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様。1年間、和田岡小学校の教育活動に対して、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。令和5年度、本校が更に発展するよう全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

校長 梅葉紳介



代表の児童に修了証書を手渡しました。



式辞では1年間を振り返りました。

第20回ひまわり賞 今年度最後の受賞者の皆さんです



3月10日に行われた第20回ひまわり賞授賞式後、記念に撮影した集合写真です。日常生活の中で見せてくれる子どもたちの小さな親切や、授業でのがんばりなど、たくさんの「いいところみつけ」ができました。来年度もぜひ自分自身のよさや個性を伸ばしてたくさんの児童にひまわり賞を受け取ってほしいと思っています。